

令和4年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園
鶴山台国際幼稚園

当園ではこの度、令和4年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

身体も心もびのびと過ごせる、情操と知育を総合させた教育を目指しています。
きちんとした価値観やモラルを心を身につけること。それが心身を健やかに成長させ、子どもの未来を創る原動力となります。

保育するうえでは、「徳育、知育、体育、国際化（英語教室）」の4つの理念を大切に、その中で息づく「こころ」を育てる教育を教育を実践しております。

きちんとしたモラルの心を身につけ、親孝行で将来社会の役に立つ人として育てていくよう、教諭、講師、職員の力をあわせ、お子様たちの保育をすすめてまいります。

II. 今年度の重点目標

●教職員の資質向上 ●教職員間の連携強化 ●安全管理体制の充実 ●園全体の発展

III. 自己評価項目と取組み状況

自己評価項目		取組み内容	
1	教職員の資質向上	子どもにとってよりよい教育のためにどのような取組みをしましたか？	B 1人1人の成長過程に合わせて、積極的に取り組めるように声を掛けたり、難しいことでもすぐに手を出すのではなく、見守り出来るように援助を行うことで、子ども達の出来ることを増やすことができた。それぞれの子どもに応じた関わりができるように、子ども一人ひとりをしっかり観察し、接することができた。
2	教職員間の連携強化	会議や終礼等の情報共有によってどのような取組みをしましたか？	A 朝礼・終礼の伝達では、漏れの内容に伝えた。また質問時間を設け、相互の認識のズレが発生しないよう気を付けた。があればきちんと答えた。病気で欠席している子どもは全体でわかるようホワイトボードにクラス、人数を記載し、共有した。情報をノートに記載し、視覚でも情報が入るようにした上で、昼礼等で子どもの変わった様子がないかを話し、共有するようにした。

令和4年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園
鶴山台国際幼稚園

自己評価項目		取組み内容	
3	安全管理体制の充実	子どもたちが安全に遊具を利用できる環境を整えるために、遊具の確認を定例化して行う。避難訓練の回数やその方法・設定について再度検討する。	B 避難訓練は、役割を分担したことで、窓や扉の開閉等をスムーズに実践し、子ども達を安全に誘導する事ができた。遊具を使う前には安全に遊べるか状況を確認したり、子ども達が死角にならないよう立ち位置を考えて、全員が見える場所に常にいるように心掛けた。
4	園全体の発展	園全体の発展につなげるため、保護者アンケートの集約意見を教職員全体で考察する。	B 全学年のアンケート結果を確認することで学年ごとの課題や反省点を見いだせることができています。意見をもらったその日の内に職員間で共有し、より良い保育をするためにはどのようなことができるか話し合うことができた。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

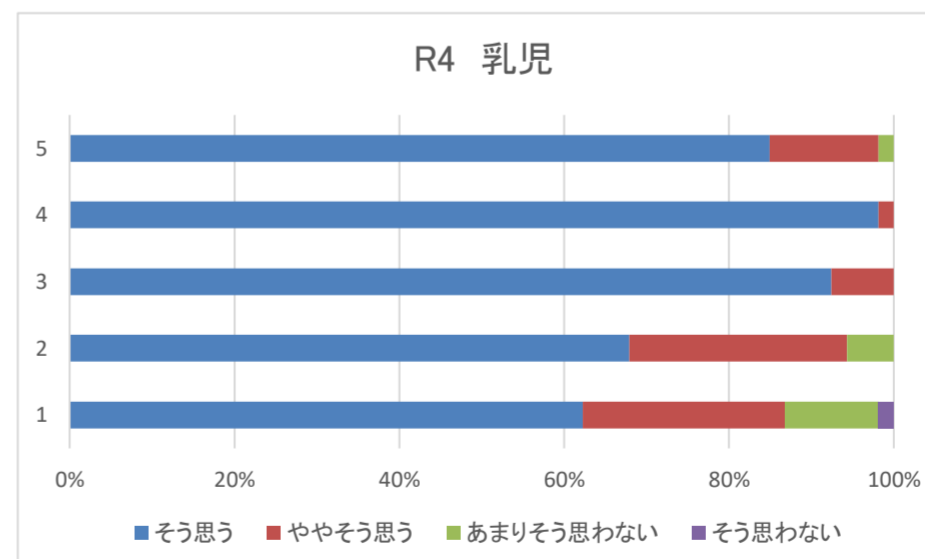
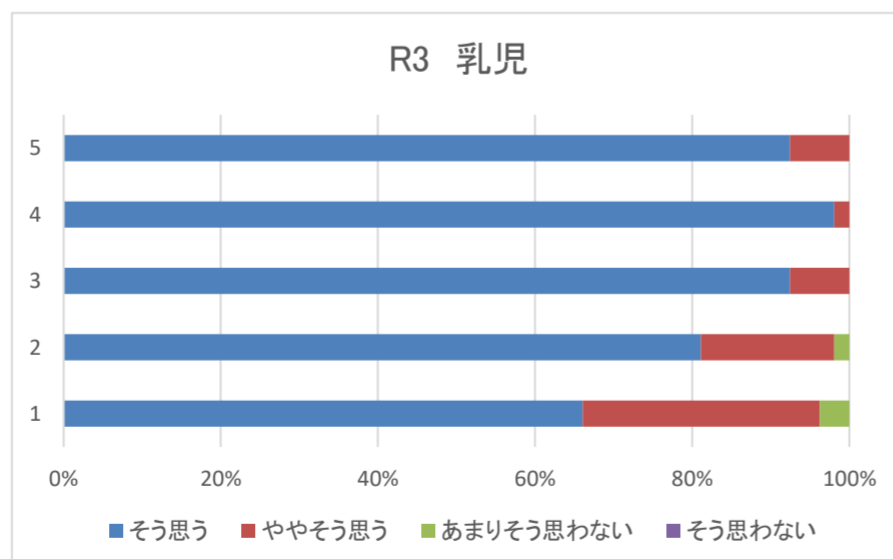
1	教職員の資質向上	他の学年の子どもについても把握し、保護者に積極的に声掛けができるようにしていきたい。今後も、同じ年齢の子が同じ事ができると決めつけるのではなく、1人1人に合わせて声を掛け、成長に合わせて取り組めるようにしていきたい。
2	教職員間の連携強化	朝礼、終礼ノートなどミーティングのノートを必ず目を通すよう個人個人心掛けるようにしていきたい。伝達事項についてをより分かりやすく、的確に伝えていきたい。できるだけ情報共有の場を多く持てるようにしていきたい。
3	安全管理体制の充実	掃除の際に遊具の点検確認を行う。避難訓練を行う度に反省点を出し、振り返りを行い、次回に活かせるよう話し合っていきたい。避難訓練がパターン化しないよう様々なケースに備え、行っていきたい。
4	園全体の発展	保護者の方々に安心してもらえるよう子どもの1日の様子や頑張ったことを伝えていきたい。アンケートから保護者の要望を読み取り、改善することで子どもたちに良い影響を与えられると思うため、職員全体でアンケート結果を振り返り改善策を話し合う場を作っていきたい。

V. 保護者アンケートの結果

■アンケートの集計結果

<乳児クラス>

質問1	質問2	質問3	質問4	質問5
お子さんは、園に当園をお子さんを楽しみにしていますか？	お子さんは、感受性が豊かだと感じるときがありますか？	お子さんは、クラスの先生に親しみを持っていますか？	お子さんは、園生活で成長していると感じますか？	お子さんは、自園給食の内容に満足していますか？



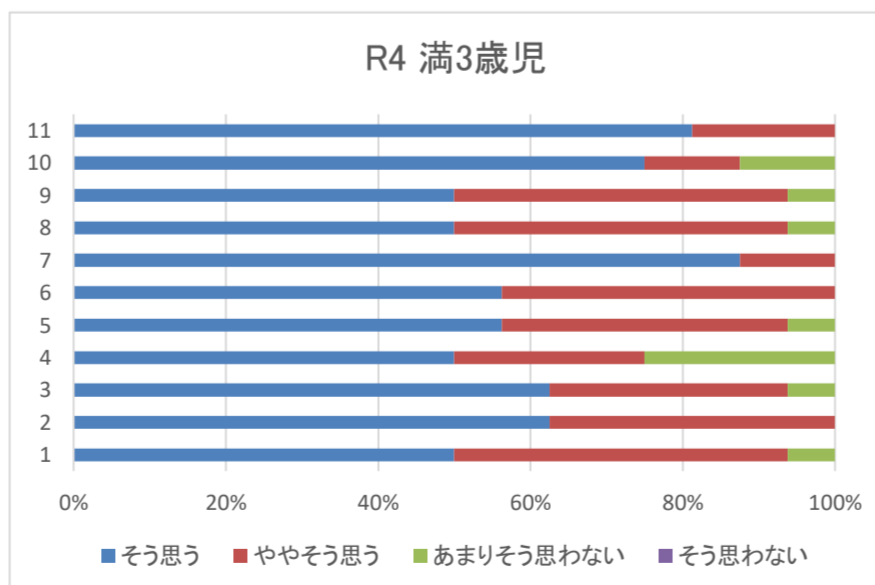
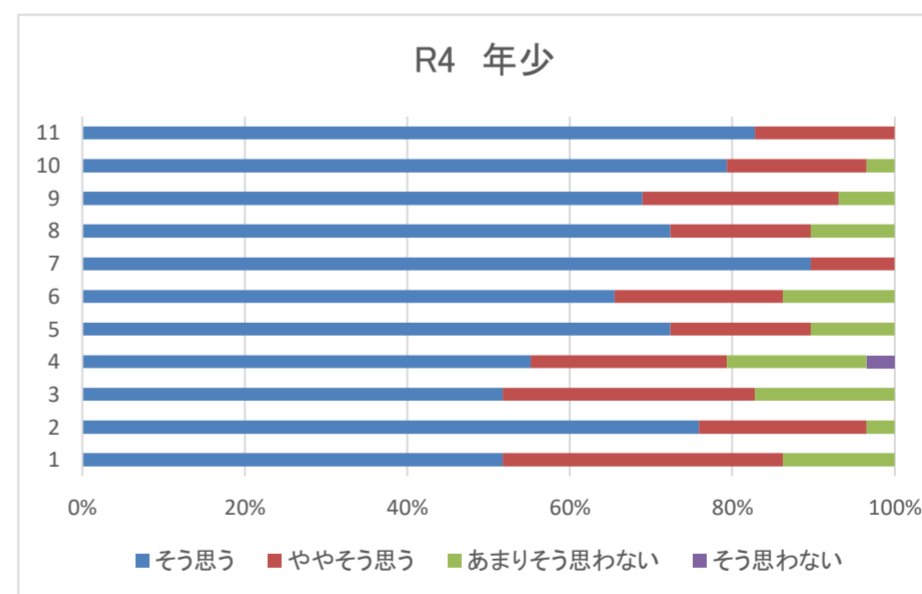
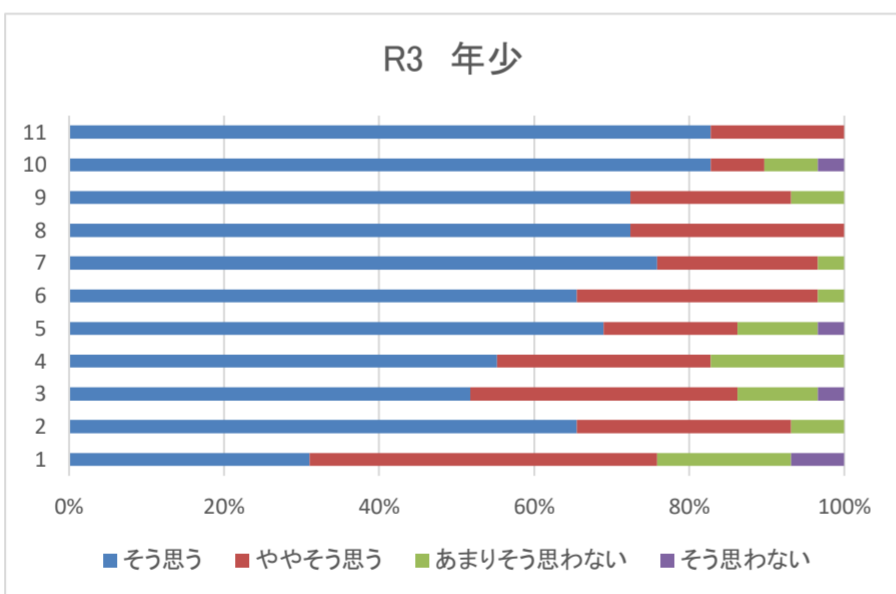
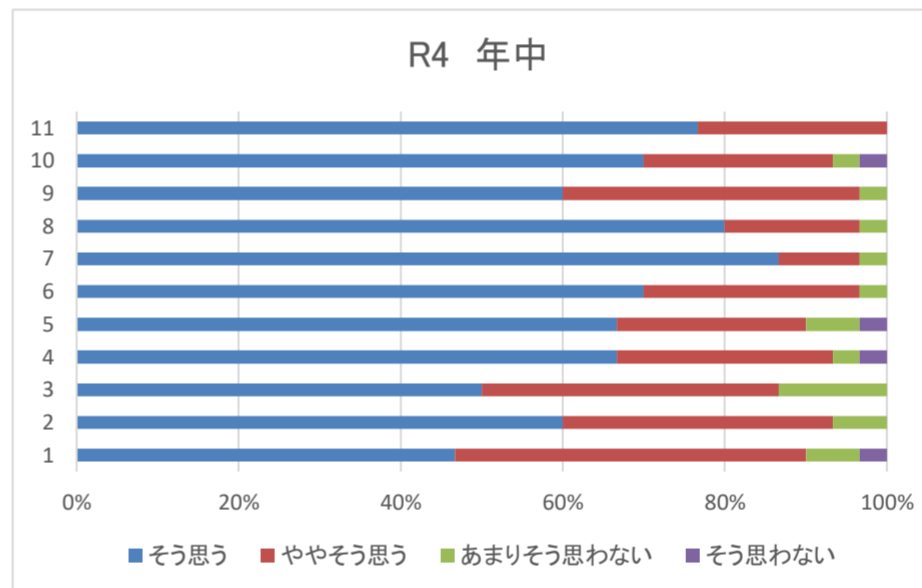
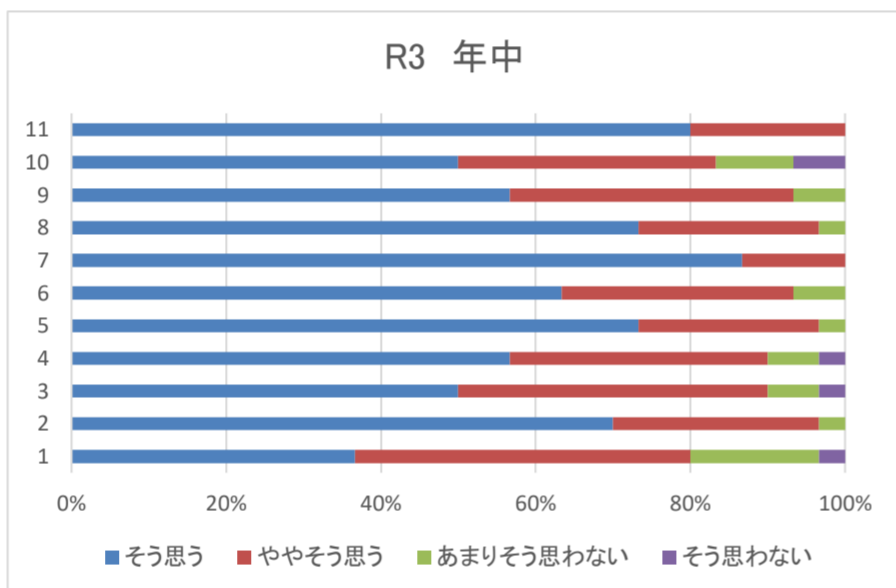
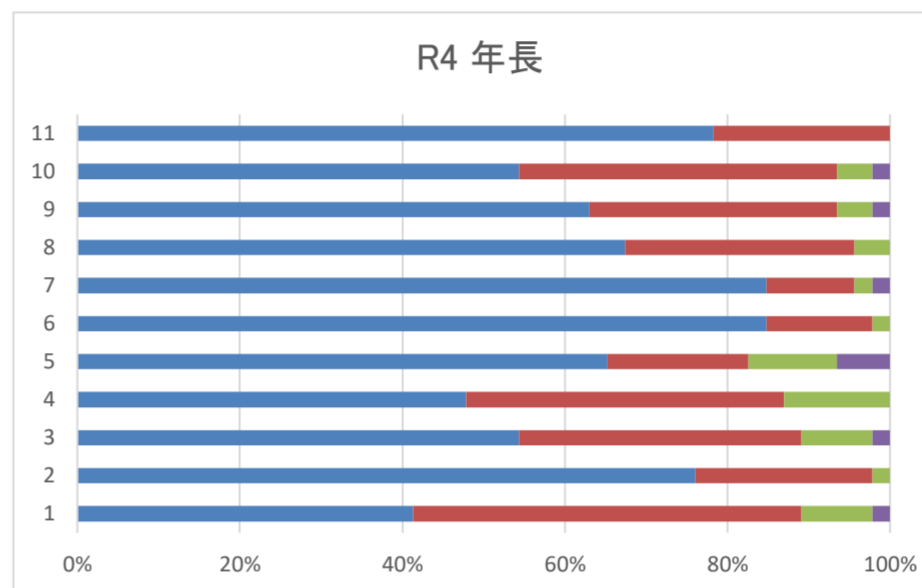
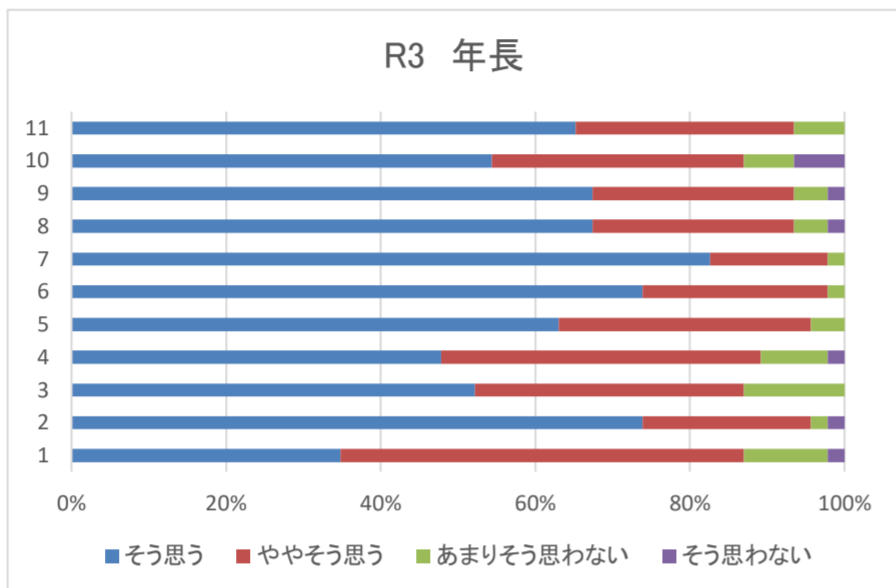
令和4年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園
鶴山台国際幼稚園

<満3歳児・年少・年中・年長クラス>

質問1	質問2	質問3	質問4	質問5
お子さんは、誰にでも自分から挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えることができますか？(ありがとうの言葉など)	お子さんは、感受性が豊かだと感じる時がありますか？	お子さんは、話を聞く時、相手の目を見て聞くことができますか？	お子さんは、お家で進んでお手伝いをすることができますか？	お子さんは、絵本に興味を持ち、読んでもらおうとする姿勢が見られますか？

質問6	質問7	質問8	質問9	質問10	質問11
お子さんは、集団生活の基本(順番を守るなど)がきちんとできていますか？	お子さんは、体育活動(跳び箱、縄跳び、鉄棒、一輪車、ボールなど)を楽しみにしていますか？	お子さんは、園に当園することを楽しみにしていますか？	お子さんは、体育活動を通じて、体が丈夫なと思いますか？	お子さんは、英単語や英語の歌などに興味を示していますか？	お子さんは、自園給食の内容に満足していますか？



■アンケート結果の考察(気付いた事・今後の課題など)

<乳児クラス>

◇項目1

保護者の方が恋しい年代で登園を楽しみにして頂いている事は、嬉しく思います。入園が月々の為、小さいお子様は慣れるのに時間もかかります。早く慣れて頂き登園を楽しみにして頂けるよう寄り添っていきます。

◇項目2

子どもの感受性は、色々な経験の中で育まれます。発達途中の子ども達が豊かな感受性を感じられる保育を行っていきます。

◇項目3

園では、担任やかかわる職員は保護者の役割と考え、子どもたちに保育しています。そのかわりが職員への親しみにつながって頂けるものと考え、とても嬉しく思います。これからもより親しみを持って頂ける保育を続けます。

◇項目4

殆どの方が、お子様の成長を感じて頂いている事は、とても嬉しく私たちの励みになります。これからも一人ひとりに寄り添う保育で成長を感じて頂けるよう取り組みます。

◇項目5

自園給食では栄養管理士が子ども達に必要な栄養がとれるメニューを考えています。食育を通して旬の食材を味わって季節を感じて頂くようにもしています。これからもお子様が楽しく美味しく食事して頂けるメニューを考えていきます。

<満3歳児・年少・年中・年長クラス>

◇項目1

挨拶は、園では子ども達も意識して行っています。小さいクラスの子どもの挨拶の評価があることはとても嬉しく感じます。年齢によって恥ずかしさも出てきたり、園と家庭の違いもあると考えます。これからも積極的に取り組むようにしていきます。

◇項目2

どの学生でも良い結果が出ていて嬉しく思います。色々な経験の中で育まれる感受性が園の活動を通してしっかり育っていつくれていると思うと、とても嬉しいです。子どもにしか感じられない事をしっかり受け止め、これからもたくさんの経験を通して感受性を育ていけるよう取り組みます。

◇項目3

学年を通して良い結果が出ています。「話を聞く、目をみて聞く」は、園の習慣として取り組んでいますので家庭でもできている事が、とても嬉しいです。

◇項目4

園では、お当番活動やお手伝いを通して役立つ喜びや楽しさを感じ積極的な取り組みができています。「ありがとう」等の言葉をたくさん伝え、家庭でも役立つ喜びを感じ積極的なお手伝いにつなげられるよう取り組みます。

◇項目5

貸し出しを通して持ち帰りの絵本を、しっかり読み聞かせて頂いている結果だと感謝いたします。読み聞かせを通して、字を覚えたり想像力を育ませたりしますので、引き続き貸し出し絵本を活用して頂くようにします。

◇項目6

良い結果が出ていてうれしく思います。集団生活においてルールを守ることが大きくなるごとに意識が高くなっています。子どもたち自身がルールを理解し実践していると考えます。これからも保育を通して丁寧に取り組みます。

◇項目7

身体を動かして楽しむことは、どの学年も良い結果が出ています。年長になると興味のある、なしによっても、縄跳びや一輪車、鉄棒など取り組みの差があると思います。体育活動においては、体育講師と連携し子ども達も積極的に参加していますので、体育活動の中で更に登園を楽しみに出来るように寄り添っていきます。

◇項目8

概ね登園を楽しみにして頂いていることを嬉しく思います。小さいクラスでは保護者と離れる不安もあるようですが、成長と共に楽しみにして頂けると思います。更に登園を楽しみに思ってもらえるよう寄り添っていきます。

◇項目9

体育活動では、サーキットを通して走る、跳ぶ、ぶら下がる等の基本的な動きを通して体力づくりをしています。子ども達にとって楽しみながら、体力づくりできていると考えます。

◇項目10

英語指導では学年に応じた指導で歌やゲームを楽しんだり、年長クラスではアルファベットで自分の名前を書いたりしています。常勤の先生も常に子ども達と接していますので、英語と触れ合う事が自然にできていると考えます。英語が園生活の中に溶け込み更に興味を持ってもらえる環境づくりに取り組みます。

◇項目11

全学年満足して頂いている事を嬉しく思います。献立のレパートリーを増やしたり、今年度は世界の献立を取り入れて様々な国の「食」も味わいました。食育を通して食べる事の大切さも学び、自分で作る事で苦手な食材も食べられるようになったりしています。これからも「食育」を通して食に興味を持ち、美味しく、楽しく食べて頂けるようにします。

VI. 学校関係者の評価

評価報告書を拝見させて頂きましてありがとうございます。全体的に良い結果が出ていますが、子供達が園生活を送る中で様々な体験を通して色々な経験をし、成長しているのだなと改めて感じました。毎日楽しんで、先生に愛着を持って通わせて頂いてありがたいなと思います。どの項目でもやや思う以上の割合が多いですが、特に給食については2年共にほぼ100%で素晴らしいと思いました。給食を通して、自宅でも頑張って食べようという姿勢に繋がっていると実感しています。また、質問2も評価が高いですが、感受性は豊かな発想や感性だけでなく、他者への関わり方等にも大きく関係してくると思う為、家庭でも大切に育んでいきたいと思っています。

私は体育指導の外部講師として、園と先生方、子どもたちと関わらせて頂いています。日々の指導の中で先生方から積極的に質問を頂いています。特に年長になると、とび箱、鉄棒の逆上がり、縄とびの修得に向けて活動しています。小学生の体育活動に自信を持って取り組める様に体育以外の保育でも運動して行っていると思います。しかし、項目7で先生方も課題にしている様、子どもたちの興味あるなしに関わらず挑戦しているので、苦手な子の中には、体育活動を楽しみにしていない子が生まれてしまっているのではないかと思います。興味を持つ、できるようになるために年少から年中の間に導入や準備が必要かと思っています。体育活動でも、年長になってからある程度、自信を持って行える様、それまでの準備を実施しようと思っています。先生方も年少の時から戸外あそびで鉄材や縄とびにふれる時間を確保するとういと思っています。

以上